

事 務 連 絡

令和4年4月4日

介護保険サービス事業者等 代表者 様

鹿児島市 長寿あんしん課長

感染再拡大に伴う知事緊急メッセージ及び新型コロナウイルス感染防止対策の徹底について
(通知)

かねてから、本市の介護保険・高齢者福祉行政にご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

また、平素より高齢者施設等における感染症対策にご尽力いただいておりますことに御礼申し上げます。

さて、標記の件につきまして令和4年4月1日付で鹿児島県より通知がありましたのでお知らせいたします。

本市においても、3月下旬より新規感染者が300人を超える日が増えてきております。

引き続き積極的な感染防止に取り組んでいただきますようお願いいたします。

なお、貴法人の介護サービス事業所等への周知についても併せてお願いいたします。

- 介護保険サービス事業所等の従業者や利用者に新型コロナウイルス感染症が発生した場合は、当課までご連絡ください。
- 新型コロナウイルス感染症の発生に伴い事業所を臨時休業する場合は、「臨時休業の実施状況報告書」をメールにて報告してください。

【臨時休業の状況報告の様式】

[市ホームページ](#) > [健康・福祉](#) > [介護保険](#) > [新型コロナウイルス感染症への対応](#) > [介護保険サービス事業所における臨時休業の状況報告](#)

【問い合わせ】

鹿児島市 長寿あんしん課 長寿施設係

電話：099-216-1147

Eメール：choujuanshin-shi@city.kagoshima.lg.jp

高生第1023号
建第10-1号
令和4年4月1日

各関係施設等の長 様

鹿児島県くらし保健福祉部
高齢者生き生き推進課長
介護保険室長
鹿児島県土木部
建築課住宅政策室長

感染再拡大に伴う知事緊急メッセージ及び新型コロナウイルス感染防止
対策の徹底について（通知）

本県の高齢者福祉行政の推進につきまして、日頃より御理解、御協力をいただき、深く感謝申し上げます。

県内の新型コロナウイルス感染症の新規の感染者数については、緩やかな減少傾向となっていましたが、3月の3連休以降、急激に増加に転じ、3月30日は776人と過去最多を更新し、31日も689人と多くの感染者が確認されているところであり、別添の「感染再拡大に伴う知事緊急メッセージ」が発出されたところです。

現在の感染状況を見ると、10代、20代の若い方の感染が増えており、春の移動シーズンを迎え、若い方の交流が活発化している影響が推測されます。

第6波においては、若者の感染拡大の後、高齢者施設等でのクラスター発生など、高齢者等への感染が発生し、拡大しております。

まん延防止等重点措置は解除されましたが、爆発的感染拡大警報は継続中です。

感染経路不明の感染者の割合が5割程度と高い状態にあり、いつ、どこで、誰から感染するか分からない、非常に危険な状況となっており、最大級の警戒感を持って、感染防止対策をお願いします。

各関係施設等におかれては、これまでも感染防止対策に取り組んでいただいているところですが、これまで送付している下記通知等を再確認していただき、引き続き感染防止対策を徹底していただくようお願いします。

通所介護、老人短期入所事業所等を併設されている施設等におかれましては、各事業所への周知についても併せてお願いします。

記

○令和4年1月19日付け高生第369号・建第10-378号

○令和4年3月11日付け高齢者生き生き推進課長・介護保険室長連名通知

（問合せ先）

鹿児島県くらし保健福祉部高齢者生き生き推進課・介護保険室
施設整備係（担当 有川） TEL：099-286-2703
事業者指導係（担当 畠中） TEL：099-286-2687
土木部建築課住宅政策室
住宅企画係（担当 平野） TEL：099-286-3740

感染再拡大に伴う知事緊急メッセージについて

令和4年3月31日

(新型コロナウイルス感染症対策室)

■感染状況

- 県内の新型コロナウイルス感染症の新規の感染者数につきましては、緩やかな減少傾向となっておりましたが、3月の3連休以降、急激に増加に転じ、一昨日は759人、昨日が776人と、連日、過去最多を更新しており、本日も689人と多くの感染者が確認されております。
- この増加傾向は九州各県をはじめ、全国で見られており、このままでは短期的なりバウンドということではなくて、第7波に突入してしまうのではないかと強く危惧しております。

■若者の感染防止対策

- 現在の感染状況を見ますと、高齢者の感染者が少ない一方で、10代、20代の若い方の感染が増えております。これは、春の移動シーズンを迎え、進学や卒業、就職などを記念して、こういう若い方の交流が活発化している影響ではないかと推測されます。また、春の大会など部活動やサークル活動に伴う感染も増えております。
- 卒業等をお祝いする友人どうしの会食や旅行などにおいては、第三者認証を取得している飲食店や宿泊施設など感染防止対策を講じている店舗等を選び、気を緩めることなく、マスクの着用、手指消毒の実施、定期的な換気、カラオケやライブで大声を出さないなど基本的な感染防止対策の徹底をお願いいたします。また、会食の際は、同一グループ同一テーブル4人以下となるようお願いいたします。
- 部活動等においては、密を避け、十分な換気を行うほか、休憩時にはマスクを着用するなど、感染防止対策を徹底してください。また、体調不良の場合は参加しないようにしてください。

■ B A . 2 ・ P C R 等 無 料 検 査

- 県内では、18日に感染性、伝播性がより強いオミクロン株のB A . 2系統が確認され、これまでのオミクロン株から一定程度が置き換わってきているということも推測されます。オミクロン株は、潜伏期間が約2日と短いため、早期に感染を確認することにより、感染を拡げないことが重要です。喉の痛みや倦怠感など少しでも体調の異変を感じた場合には、早めに地域の医療機関を受診するようお願いいたします。また、無症状でも感染の不安のある方は県の無料P C R等検査をご活用いただきたいと思います。
- 体調に異変を感じた方や感染の不安がある方は、できるだけ外出を控え、人との接触においても細心の注意を払うようお願いいたします。

■ 高 齢 者 の 感 染 拡 大 防 止

- 第6波においては、若者の感染拡大の後、高齢者施設や病院でのクラスター発生など、高齢者への感染が発生し拡大しました。重症化リスクの高い高齢者や基礎疾患を有する方への感染が拡大しますと、医療提供体制の逼迫、死亡者の増加につながりかねません。高齢者等に接する場合には、マスク会食の徹底など、高齢者等の命を守る行動をお願いいたします。

■ ワ ク チ ン 接 種

- ワクチンの3回目接種につきましては、高齢者の接種は進んでおりますが、今感染が拡大している若い方で、希望される方は、接種券が届き次第、早めのワクチン接種をお願いいたします。

■ 結 束

- これからまだ春の移動シーズンで、歓迎会などのイベントが続くと思います。

まん延防止等重点措置は解除されましたが、爆発的感染拡大警報は継続中です。市中感染が拡がり、感染経路不明の感染者の割合が5割程度と高い状態となっております。いつ、どこで、誰から感染するか分からない、非常に危険な状況となっております。家庭内感染も依然として多くなっております。ご自身とご家族の身を守るため、最大級の警戒感を持って、感染防止対策をお願いいたします。

高生第369号
建第10-378号
令和4年1月19日

各関係施設等の長 様

鹿児島県くらし保健福祉部
高齢者生き生き推進課長
介護保険室長
鹿児島県土木部
建築課住宅政策室長

警戒基準レベルの引き上げ（1→2）等を踏まえた対応について（通知）

本県の高齢者福祉行政の推進につきまして、日頃より御理解、御協力をいただき、深く感謝申し上げます。

本県においては、1月5日には、県内初のオミクロン株の市中感染が確認され、最近では、新規感染者のほとんどがオミクロン株に置き換わっていると思われています。

これにより、県内では、鹿児島市や霧島市での感染が急増しており、新規感染者数が県全体で100人を超える日が続き、まさに第6波が到来している状況にあります。

このようなことから、本日、県新型コロナウイルス感染症対策本部会議が開催され、本日付けで、本県の警戒基準をレベル2に引き上げるとともに、県内全域に「爆発的感染拡大警報」を発令することとなりました。なお、奄美大島を対象に発令（1月8日付）している県独自の緊急事態宣言は、継続します。

オミクロン株については、これまでの変異株に比べて、感染性・伝播性の高さが懸念されており、ワクチンを2回接種した方が感染するいわゆるブレイクスルー感染も多く見られます。

各関係施設等におかれては、これまでも感染防止対策に取り組んでいただいているところですが、今回の警戒基準レベルの引き上げ等を踏まえ、これまで送付している通知等を再確認していただき、特に下記の点に留意した上で、ワクチンを2回接種された方も、油断することなく、引き続き感染防止対策を徹底していただくようお願いいたします。

オミクロン株は重症化しにくいという見方もありますが、高齢者の場合などは、重症化リスクには注意が必要との専門家の意見も踏まえ、家庭内であっても、会話時のマスクの着用など、感染防止対策の徹底をお願いします。

感染力が強いオミクロン株影響で今後、さらに爆発的な感染が拡大する可能性があります。引き続き、強い警戒感を持って、感染防止対策にご協力いただきますようお願いいたします。

なお、通所介護、老人短期入所事業所等を併設されている施設等におかれましては、各事業所への周知についても併せてお願いします。

記

1 面会については、緊急やむを得ない場合を除き、面会を制限する（オンライン面会等の感染のおそれのない面会を除く）等の対応

2 職員や利用者で発熱等の症状がある方の速やかな医療機関の受診・検査

3 外部からウイルスが侵入することがないように、職員や在宅の利用者等については、健康管理及び体調不良時の出勤やサービス利用を控える等の対策の徹底

4 「3ない運動」、「3つの黙」（別添1）及び「コロナ対策 チェックリスト」（別添2）による自主点検等の感染防止対策の徹底

(問合せ先)

鹿児島県くらし保健福祉部高齢者生き生き推進課
施設整備係 (担当 鶴菌)

電話：099-286-2703

介護保険室事業者指導係 (担当 畠中)

電話：099-286-2687

鹿児島県土木部建築課住宅政策室

住宅企画係 (担当 倉内)

電話：099-286-3740

高齢者施設でのクラスター発生 絶対阻止！ (3ない運動)

別添1

持ち込まない

利用者

監修：川村 英樹
鹿児島大学病院感染制御部副部長

- 通所サービスは、体調が悪い時は利用を控えよう
- 家族の体調や、県外との往来にも気をつけよう

持ち込ませない

施設

- 体調の悪い職員は必ず休ませよう
- 体調の悪い入所者・職員は、早めに医師に相談を
- 面会はリモートで
- 感染リスクが高まる「5つの場面」を避けよう

【感染リスクが高まる5つの場面】

- ① 飲食を伴う懇親会等
- ② 大人数や長時間におよぶ飲食
- ③ マスクなしでの会話
- ④ 狭い空間での共同生活
- ⑤ 居場所の切り替わり

拡げない

施設

- 食事の時は、距離を保って、黙って食べよう
- 職員は休憩，更衣時でもマスク着用，喫煙スペースでも会話を控えよう
- 脱衣所では、距離を保って話さない，入浴介助も会話を控えよう
- 職員はマスク着用を徹底しよう（利用者さんにも協力を）

高齢者施設でのクラスター発生 絶対阻止！

POINT！

三つの「黙」

- 1 食事の時は距離を保って黙って食べる
(会話は食事後，マスクを着けて)

黙食

- 2 職員は休憩，更衣時でもマスク着用，喫煙所では話さない(徹底してください)

黙煙

- 3 脱衣所では距離を保って黙って入浴
(職員は目の保護とマスクの着用)

黙浴

監修：川村 英樹
鹿児島大学病院感染制御部副部長

自分たちを守るための対策をしましょう

コロナ対策 チェックリスト



監修：川村 英樹
鹿兒島大学病院感染制御部 副部長
ICT チーフ 特例准教授

①いつでも実施：コロナ対策としてよりも、いつでも実施する対策

②コロナ対策：新型コロナウイルス感染症に特化した対策

③対策グレードアップ：①②ができていればより強化するための対策

	● 手指衛生	● 環境整備	● 個人防護具	● マスク	● 換気	● 食事	● 入浴介助
いつでも実施	<input type="checkbox"/> 手指衛生 1 処置・1 患者ごとに手洗い	<input type="checkbox"/> 環境整備 1 日 2 回は清拭（清掃）	<input type="checkbox"/> 個人防護具（PPE） 汚染されるリスクがある場合は着用	<input type="checkbox"/> マスク 医療従事者はサージカルマスクを着用	<input type="checkbox"/> 換気 時間で換気 対角線上で窓を開ける	<input type="checkbox"/> 食事 対面でしない 眼を保護する	<input type="checkbox"/> 入浴介助 マスク着用 眼を保護する
コロナ対策	<input type="checkbox"/> 首より上× ※手指衛生を していない手で首から上を触らない （眼・鼻・口など）	<input type="checkbox"/> 0.05%以上の次亜塩素酸ナトリウム溶液 <input type="checkbox"/> アルコール（60%以上のエタノール）	<input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> 手袋 <input type="checkbox"/> エプロン <input type="checkbox"/> ガウン <input type="checkbox"/> フェイスシールド <input type="checkbox"/> ゴーグル <input type="checkbox"/> キャップ	<input type="checkbox"/> サージカルマスクを着用 <input type="checkbox"/> 共有スペースでは患者も着用	<input type="checkbox"/> 換気扇作動（常時）	<input type="checkbox"/> フェイスシールドか眼鏡を着用 <input type="checkbox"/> 職員も対面での食事を禁止 ※食事中に会話しない。会話するならマスクをつけて！	<input type="checkbox"/> フェイスシールドか眼鏡を着用 ※とにかく眼の保護
対策グレードアップ	<input type="checkbox"/> 開封日記載 <input type="checkbox"/> 使用期限記載 <input type="checkbox"/> 継ぎ足し× ※空にして洗浄乾燥後に補充 <input type="checkbox"/> 携帯用 <input type="checkbox"/> 使用量調査	<input type="checkbox"/> 使用期限 ※次亜塩素酸ナトリウム溶液は 24 時間 <input type="checkbox"/> 噴霧はしない <input type="checkbox"/> 手順を作る <input type="checkbox"/> 記録を残す	<input type="checkbox"/> 備蓄を準備 <input type="checkbox"/> 補助金活用 <input type="checkbox"/> 布エプロン廃止 ※購入できない場合はビニール袋をつける or 作る	<input type="checkbox"/> ユニバーサルマスキング ※常に全員がマスク着用 <input type="checkbox"/> 症状ある場合は必ずサージカルマスク <input type="checkbox"/> N95 マスクはユーザーシールドチェックを	<input type="checkbox"/> 常時 5 cm窓を開放 <input type="checkbox"/> 1 時間に 5-10 分窓を開ける <input type="checkbox"/> 陰圧室 <input type="checkbox"/> クリーンパーティション <input type="checkbox"/> HEPA フィルター付空気清浄機 <input type="checkbox"/> CO ₂ 測定	<input type="checkbox"/> パーティション設置 <input type="checkbox"/> ソーシャル・ディスタンス <input type="checkbox"/> 時間分離	



土屋 香代子

（感染管理認定看護師）



吉森 みゆき

（感染管理認定看護師）



齋藤 潤栄

（感染管理認定看護師）

似顔絵
イラストレーター
山元 怜

<重要なポイント>

- 咳やくしゃみでウイルスを飛ばさない（咳エチケット）
- 汚染してもウイルスの量を減らす（環境整備）
- 直接ウイルスを浴びない（個人防護具・特に眼）
- 自分の手から口腔・鼻粘膜・眼に入れない（手指衛生）

※相談窓口：鹿兒島県看護協会 TEL099-256-8081 FAX099-256-8079

鹿兒島県医師会 COVID-19 感染症相談窓口 TEL099-254-8121 Email covid19-consult@kagoshima.med.or.jp

新型コロナウイルス感染症 感染予防・管理のための活用ツール（中小規模病院用）：https://www.nurse.or.jp/nursing/practice/covid_19/document/pdf/tool_hospitals.pdf

新型コロナウイルス感染症 感染予防・管理のための活用ツール（高齢者福祉施設用）：https://www.nurse.or.jp/nursing/practice/covid_19/document/pdf/tool_elderly.pdf

令和4年3月11日

各関係施設等の長 様

鹿児島県くらし保健福祉部
高齢者生き生き推進課長
介護保険室長

新型コロナウイルス感染症対策に係る実施状況調査（緊急点検調査）の
結果を踏まえた対応について（通知）

本県の高齢者福祉行政の推進につきましては、かねてから格別の御協力をいただき厚くお礼申し上げます。

先般依頼しました「コロナ対策チェックリスト」による緊急点検の実施については、御協力をいただき、ありがとうございました。

調査結果については、先にお知らせした（令和4年2月22日付「新型コロナウイルス感染症対策に係る実施状況調査（緊急点検調査）の結果について（通知）」）ところですが、今般、対策を「実施している」とした施設が少なかった項目（低得点項目）について、実践の際のポイントを別紙1のとおりとりまとめましたので、貴施設等における感染防止対策に御活用ください。

また、併せて、コロナ流行期における感染防止対策の取組のポイントを別紙2のとおりとりまとめましたので、別紙1とともに、職員の皆様へ周知くださるようお願いいたします。

各関係施設におかれては、これらを参考にしていただき、引き続き感染防止対策の向上に努めていただくようお願いいたします。

なお、今回の緊急点検を実施しなかった施設等におかれては、オミクロン株による感染が非常に多い状況の中、感染防止対策がこれまで以上に求められていることを踏まえ、別紙3に基づき、各施設等において再点検を実施していただきますよう、改めてお願いいたします。

記

○ 送付資料

- ・ 別紙1：「コロナ対策チェックリスト」による緊急点検結果に基づく実践ポイント
- ・ 別紙2：コロナ流行期の感染拡大させないポイント
- ・ 別紙3：「コロナ対策チェックリスト」

<問合せ先>

鹿児島県くらし保健福祉部高齢者生き生き推進課
施設整備係（担当：鶴菌）

TEL：099-286-2703

介護保険室事業者指導係（担当：畠中）

TEL：099-286-2687

「コロナ対策チェックリスト」による緊急点検結果に基づく
実践ポイント（下線は低得点項目）

※ **コロナ流行期は、【いつでも実施】
【コロナ対策】の両方が必要です！**

監 修：川村 英樹
鹿兒島大学病院感染制御部副部長
作成協力：前永 和枝 感染管理認定看護師
吉森みゆき 感染管理認定看護師

項目	【いつでも実施】 (基本的な感染対策として実施)	【コロナ対策】 (基本的な対策に追加して実施)
個人 防護具	<ul style="list-style-type: none"> 汚染されるリスクがある場合は、手袋・マスク・ガウン又はエプロン・ゴーグル等を状況により着用 Disposable製品を単回使用 	<ul style="list-style-type: none"> 職員と利用者双方が不織布マスクを着用 3日分は在庫を確保 必要な時に个人防护具が確保できるよう相談準備
	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;">【例】 おむつ交換</div> <ul style="list-style-type: none"> 手袋・エプロンを装着し、毎回交換 使用前のおムツが汚染しないよう、清潔・不潔は区分けする 	
	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;">【例】 口腔ケア</div> <ul style="list-style-type: none"> 使用物品は清潔に管理 マスク、エプロン、フェイスシールド又はゴーグルを着用 	
眼の 保護	<ul style="list-style-type: none"> 吸引等を行うときはフェイスシールド又はゴーグルを着用 	<ul style="list-style-type: none"> マスクを外した利用者とは対面するときはフェイスシールド又はゴーグルを着用 -食事介助 -入浴介助
食事 (介助)	<ul style="list-style-type: none"> 利用者同士の座る位置は、対面をさける 職員も食事は対面をさける 	<ul style="list-style-type: none"> 座る位置は距離を離す 距離がとれない場合は、時間をわけるか、パーティションを設置 食事中の会話はしない
入浴 介助		<ul style="list-style-type: none"> フェイスシールド又はゴーグルは曇らないように工夫 脱衣室も密にならないように 浴室や脱衣室使用時の定期的な換気も忘れずに
換気	<ul style="list-style-type: none"> 時間を決めて対角線上で窓を5cm程度開ける 	<ul style="list-style-type: none"> 換気扇作動（常時） サーキュレーターの活用 CO₂モニターの活用

コロナ流行期の感染拡大させないポイント

監 修：川村 英樹
鹿児島大学病院感染制御部

作成協力：吉森みゆき 感染管理認定看護師
前永 和枝 感染管理認定看護師

□健康チェック強化（発熱咳、咽頭痛、鼻汁等） 報告と記録に残す

- 相談・報告しやすい職場環境を作る
- 無理をせず休む



□不織布マスク着用と目の防護

- 利用者は、マスク着用ができない場合が多いため、職員は目の保護を行う
- 食事、入浴介助、喀痰吸引時は必ず目の保護を行う
- マスクを外した際の会話を行わない

□手指消毒の徹底

□換気

- 1時間に1回（10分）または常時換気

□整理整頓し清潔な環境を作る

□防護用具の着脱訓練とポスターの準備

- いつでも正しく着脱ができるように訓練しておく

◎ 対策と情報は、職員同士で共有しましょう！



自分たちを守るための対策をしましょう

コロナ対策 チェックリスト



監修：川村 英樹
鹿兒島大学病院感染制御部 副部長
ICT チーフ 特例准教授

- ①いつでも実施：コロナ対策としてよりも、いつでも実施する対策
- ②コロナ対策：新型コロナウイルス感染症に特化した対策
- ③対策グレードアップ：①②ができていればより強化するための対策

	● 手指衛生	● 環境整備	● 個人防護具	● マスク	● 換気	● 食事	● 入浴介助
いつでも実施	<input type="checkbox"/> 手指衛生 1 処置・1 患者ごとに手洗い	<input type="checkbox"/> 環境整備 1 日 2 回は清拭（清掃）	<input type="checkbox"/> 個人防護具（PPE） 汚染されるリスクがある場合は着用	<input type="checkbox"/> マスク 医療従事者はサージカルマスクを着用	<input type="checkbox"/> 換気 時間で換気 対角線上で窓を開ける	<input type="checkbox"/> 食事 対面でしない 眼を保護する	<input type="checkbox"/> 入浴介助 マスク着用 眼を保護する
コロナ対策	<input type="checkbox"/> 首より上× ※手指衛生をしていない手で首から上を触らない（眼・鼻・口など）	<input type="checkbox"/> 0.05%以上の次亜塩素酸ナトリウム溶液 <input type="checkbox"/> アルコール（60%以上のエタノール）	<input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> 手袋 <input type="checkbox"/> エプロン <input type="checkbox"/> ガウン <input type="checkbox"/> フェイスシールド <input type="checkbox"/> ゴーグル <input type="checkbox"/> キャップ	<input type="checkbox"/> サージカルマスクを着用 <input type="checkbox"/> 共有スペースでは患者も着用	<input type="checkbox"/> 換気扇作動（常時）	<input type="checkbox"/> フェイスシールドか眼鏡を着用 <input type="checkbox"/> 職員も対面での食事を禁止 ※食事中に会話しない。会話するならマスクをつけて！	<input type="checkbox"/> フェイスシールドか眼鏡を着用 ※とにかく眼の保護
対策グレードアップ	<input type="checkbox"/> 開封日記載 <input type="checkbox"/> 使用期限記載 <input type="checkbox"/> 継ぎ足し× ※空にして洗浄乾燥後に補充 <input type="checkbox"/> 携帯用 <input type="checkbox"/> 使用量調査	<input type="checkbox"/> 使用期限 ※次亜塩素酸ナトリウム溶液は 24 時間 <input type="checkbox"/> 噴霧はしない <input type="checkbox"/> 手順を作る <input type="checkbox"/> 記録を残す	<input type="checkbox"/> 備蓄を準備 <input type="checkbox"/> 補助金活用 <input type="checkbox"/> 布エプロン廃止 ※購入できない場合はビニール袋をつける or 作る	<input type="checkbox"/> ユニバーサルマスク着用 ※常に全員がマスク着用 <input type="checkbox"/> 症状ある場合は必ずサージカルマスク <input type="checkbox"/> N95 マスクはユーザーシールドチェックを	<input type="checkbox"/> 常時 5 cm窓を開放 <input type="checkbox"/> 1 時間に 5-10 分窓を開ける <input type="checkbox"/> 陰圧室 <input type="checkbox"/> クリーンパーテーション <input type="checkbox"/> HEPA フィルター付空気清浄機 <input type="checkbox"/> CO ₂ 測定	<input type="checkbox"/> パーティション設置 <input type="checkbox"/> ソーシャル・ディスタンス <input type="checkbox"/> 時間分離	



土屋 香代子

（感染管理認定看護師）



吉森 みゆき

（感染管理認定看護師）



齋藤 潤栄

（感染管理認定看護師）

似顔絵
イラストレーター
山元 怜

<重要なポイント>

- 咳やくしゃみでウイルスを飛ばさない（咳エチケット）
- 汚染してもウイルスの量を減らす（環境整備）
- 直接ウイルスを浴びない（個人防護具・特に眼）
- 自分の手から口腔・鼻粘膜・眼に入れない（手指衛生）

※相談窓口：鹿兒島県看護協会 TEL099-256-8081 FAX099-256-8079

鹿兒島県医師会 COVID-19 感染症相談窓口 TEL099-254-8121 Email covid19-consult@kagoshima.med.or.jp

新型コロナウイルス感染症 感染予防・管理のための活用ツール（中小規模病院用）：https://www.nurse.or.jp/nursing/practice/covid_19_document/pdf/tool_hospitals.pdf

新型コロナウイルス感染症 感染予防・管理のための活用ツール（高齢者福祉施設用）：https://www.nurse.or.jp/nursing/practice/covid_19_document/pdf/tool_elderly.pdf